

## かなしみ

とりわけてきょう僕はかなしいのだが

誰かが死んだためでもないし

親しい人に別れたからでもない

死んだらかなしいと思う人はまだ生きているし

別れたらかなしいと思う人とはもう別れてしまった

すべて目に見えるかなしみには

人一倍つよい僕だ

とりわけてきょう僕はかなしいのだが

敷布団の綿がハミ出してしまったからでもないし

狭い暗い借り部屋に油虫がわいたせいでもない

破れた布団はつくろってくれる人がいるし

暗い部屋でも天気の日は少しは明るい

すべての不愉快なことに

かなりがまんづよい僕だ

とりわけてきょう僕はかなしいのだが

給料の遅配欠配が重なったからでもないし

べ切過ぎた論文がまとまらないからでもない

遅配欠配に苦しんでいるのは僕だけではないし

論文はあと二、三日頑張ればまとまるだろう

貧しい上に忙しいという暮らしには

すでに永らく慣れてきた僕だ

とりわけてきょう僕はかなしいのだが

それは生きていることのかなしき

いのちがあるということのかなしきを

知ってしまったからだ

だから このかなしみは

僕の生きているあかし

僕のいのち